

淀川河口の植物プランクトン種の短時間変化 Short time variation of phytoplankton species in the Yodo River

林 美鶴^{1*}, 木村桃子¹, 樽谷賢治²
 HAYASHI, Mitsuru^{1*}, Momoko Kimura¹, Kenji Tarutani²

¹ 神戸大学, ² 水産総合研究センター瀬戸内海区水産研究所
¹Kobe Univ., ²FEIS

淀川河口では、初春から晩秋にかけて赤潮が発生する。16日間にわたって河口の表層に係留系を設置し、クロロフィルa濃度、水温、水中光量などを10分間に測定した。また表層、水深7m、海底上で2ないし3日毎に採水を行い、植物プランクトン種別の細胞密度、栄養塩濃度を測定した。この期間中に、珪藻類の割合が若干減少し、渦鞭毛藻類の割合が若干上奏する変化が見られた。この時に、窒素(N),リン(P),珪素(Si)濃度と、N/P、N/Si、Si/Pを解析すると、制限栄養塩の変化と種の割合が関係していることが明らかとなった。

キーワード: 淀川, 植物プランクトン
 Keywords: Yodo River, Phytoplankton

